

 <b>つや姫</b>  <b>雪若丸</b>		令和8年7月1日発行 やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 西村山農業技術普及課 (TEL 0237-86-8301)
---	---	--


## 生育過剰気味！適期適量の穂肥で食味重視の米づくりを！

- 中干しの効果をもとめるために、作溝も合わせて行いましょう。
- 生育過剰で葉色の濃い圃場がみられます。圃場ごとに生育診断を確実にを行い、穂肥を実施しましょう。

作柄診断圃の生育状況（6/30、普及課調べ）

 「つや姫」の生育調査圃（寒河江市高屋）

調査項目	本年	平年	平年比・差
草丈 (cm)	42.8	50.2	85 (短い)
莖数 (本/m <sup>2</sup> )	656	605	108 (多い)
葉数 (枚)	9.4	9.6	-0.2 (並み)
葉色 (SPAD)	41.2	40.5	+0.7 (並み)

 「雪若丸」の生育調査圃（河北町溝延）

調査項目	本年	平年	平年比・差
草丈 (cm)	37.7	43.6	86 (短い)
莖数 (本/m <sup>2</sup> )	613	696	88 (少ない)
葉数 (枚)	9.6	10.0	-0.4 (やや少ない)
葉色 (SPAD)	45.6	42.2	+3.4 (濃い)

「つや姫」「雪若丸」の出穂期予想（6/30、普及課調べ）

地域・品種	移植日	出穂期 (予想)	出穂 30日前	出穂 25日前
平坦部	雪若丸	5月17日	8月2日	7月8日 1.0~1.5kg
	つや姫	5月14日	8月5日	7月6日 1.0~1.5kg
中山間部	つや姫	5月19日	8月12日	7月13日 1.0~1.5kg

※「スマートつや姫」作業適期カレンダーによる予測値を使用。移植日+移植時の葉齢から出穂期及び穂肥適期を診断。

### 「つや姫」

**「つや姫」出穂期は8月6~8日頃**と見込まれます。

- 7月上旬（10葉期）に生育診断を行い、遅くとも出穂25日前までに品質・食味を優先した穂肥を行いましょう。

7月上旬の生育診断と対応技術

生育量	莖数 (坪70株)	葉色 (SPAD)	追肥時期	追肥量
適正	28本/株以下	かつ 39以下	30日前	~1.5kg/10a
やや過剰	28~31本/株	または 39~41	30日前	~1.0kg/10a
生育過剰	31本/株以上	または 41以上	25日前	減肥*

※ 葉色が低下しない場合、追肥を行わない。

**農作業事故と熱中症に十分注意しましょう！**

# 「雪若丸」

「雪若丸」出穂期は、**8月1～3日頃**と見込まれます。

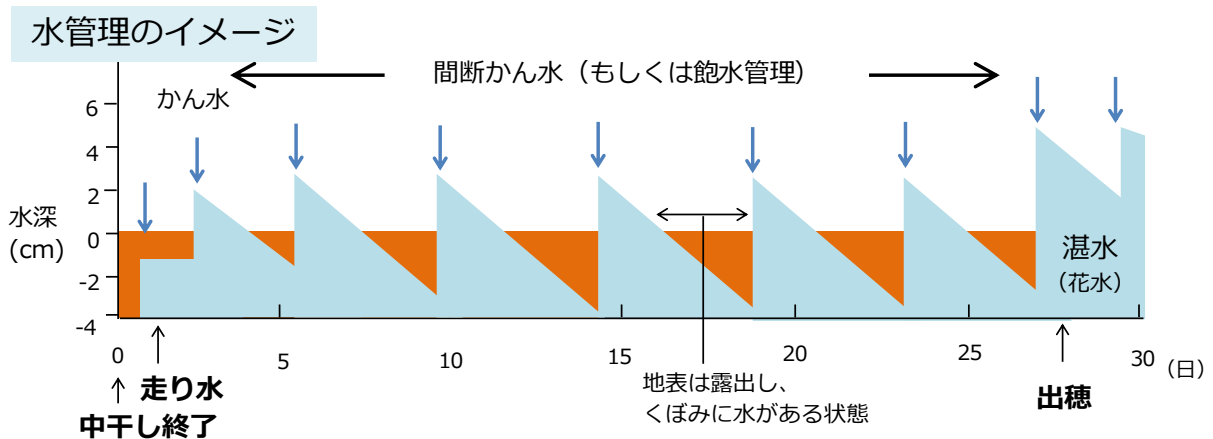
- 穂肥は、出穂25日前（7月9日）までに窒素成分で1.5kg/10aを基本とします。
- 追肥時期が遅れたり、量が多いと品質が低下し、玄米タンパク質含有率が高まります。
- 6月中に窒素肥料を補完施用した場合は、補完施肥量に応じた減肥を行います。

7月10日の生育診断と対応技術

生育量	茎数（坪70株）	葉色（SPAD）	追肥時期	追肥量
適正	26～35本/株	40～44	25日前	～1.5kg/10a
生育不足	26本/株以下	40未満	30日前	～1.5kg/10a
生育過剰	35本/株以上	44以上	25日前	減肥

## <中干し後の水管理>

- 中干し終了直後は飽水管理とし、その後は、**間断かん水**に移行します。  
間断かん水により「うわ根」の伸長を促すことで穂肥の窒素利用効率が高まります。



## <斑点米カメムシ類>

- イネ科雑草が繁茂している畦畔、農道周辺では、斑点米カメムシ類の発生が多いため、地域ぐるみで草刈を徹底し、できるだけ生息密度を下げましょう。
- 圃場内のヒエ類やホタルイも斑点米カメムシを誘引します。残草処理を徹底しましょう！

## <いもち病>

- 本田の見回りを徹底し、早期発見に努めましょう。  
発生が確認された場合は、速やかに治療効果のある薬剤を散布しましょう！

**「やまがた米づくりナビ」を活用しよう！**



「生育診断マップ」で  
効率的・効果的に判断！  
「つや姫」「はえぬき」「雪若丸」  
の3品種に対応！



※ID、パスワード、  
使用方法是  
農業技術普及課まで  
お問合せください